おやこ自転車ユーザーに向けた対話的場づくりの試み

ぼちぼち自転車くらぶ

Introduction

初めて子どもと一緒に自転車に乗った時に感じた
「移動が**楽**！　外出が**楽しい**！」の感動と
「どこを走ったらいいの？」という**恐怖感**

⇩

自転車の交通ルール等々を調べはじめる

⇩

「原則、車道」というルールや、交通事故の実情、男の子に事故が多いこと、重い子乗せ自転車の扱い方etc　**知らなかった**ことや、もっと早く知りたかったことを、みんなとシェアしたい！

⇩

親目線でリアルな育児×自転車の本を、と
『おやこで自転車はじめてブック』
刊行（疋田智さん監修、子どもの未来社刊）

1st Step

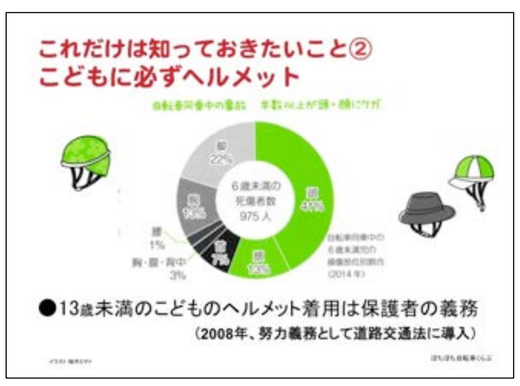
「おやこ自転車ワークショップ」
助産院のサロンなど7会場で実施

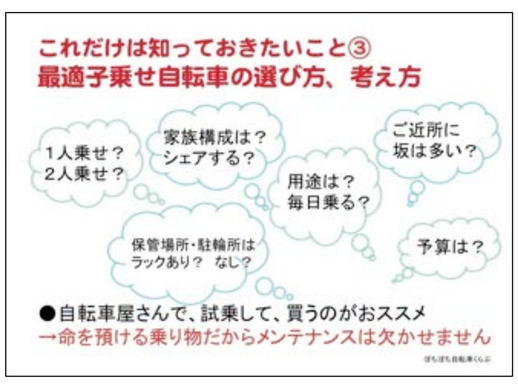
＠ねりじょはうすLuna

- ねらい…自転車の楽しさや失敗をシェアすることから
  自転車を意識化し、危険についても理解する
  交通ルールのエッセンスを知る

- 手応え…「自転車」をおしゃべりするのは楽しい！
  ヒヤッとした体験や、交通ルール通りには
  走れない悩みを多くの参加者が抱いていた

- 課　題…会場確保・広報等に多くのエネルギーが要り
  持続的な開催には工夫必要
  多くの人は自転車に乗れる→わざわざ交通
  ルールを学びたいとまでは思ってない
  →場の設定や、イベントタイトルにも工夫必要





イラスト：柚木ミサト（『おやこで自転車はじめてブック』より）

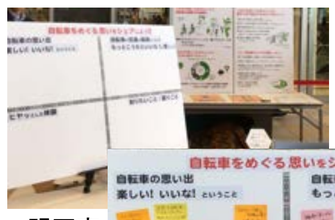
2nd Step

＠国分寺市

- 入園などを控えた自転車購入前のシーズンに
  「なんでも相談室　どう選ぶ？　子乗せ自転車」
  知りたい内容に応えながら、
  「これだけは」の重要情報を伝える

＠横浜開港祭2017

- 自転車イベントで田の字型**「シェアボード」**
  自転車のいいね！や ヒヤッと体験、
  困りごと、自転車・道路への願いを共有



＠明石市

対話しながら、付箋に書き込んでもらい
貼り付け。参加者同士の意見交換にも

田の字型シェアボードに集まった声の実例

楽しい！ いいな！ と思うこと	**自転車や交通環境について**
・自由を感じる　・季節や風を感じられる ・子どもとの移動が楽　・行動範囲広がる ・自分の力でどこでも行ける　・達成感！ ・お金がかからない ・子どもの頃の冒険思い出す（川を遡る、１人で遠出、休日早朝の都心散走…） ・親の自転車後ろに乗って買い物の思い出	もっとこうだといいな！ と思うこと ・自転車レーン拡充（途中でなくなり残念） ・自転車レーンと車道隔てるものがほしい ・電柱地中化（幹線道路より街路でとくに） ・クルマと理解しあい仲良く走りたい ・学校等でもっとしっかり自転車交通教育 ・歩道はもっとフラットに（ベビーカー大変）
ヒヤっとした体験	**知りたいこと・困りごと**
・段差で転倒　・車道に石があり転倒 ・子どもの乗降時バランス崩す（電アシ） ・雨の日、ポンチョで視界悪く転びそうに ・リアシートで子が動き、怖い ・車道で幅寄せ（自転車レーンでも） ・自転車が倒れて子が落ちるのを目撃	・車道は子乗せではムリ、怖い ・子どもに車道走らせられない 中学生になってから車道というのも困難 ・ヘルメットは義務ですか？ （被らせてない人が多いから、わからない） ・歩道でも車道でも自転車は肩身がせまい

Conclusion　気づきと提案

- 子乗せ自転車利用者は、子どもとの**移動**に**自転車**が**必要**。妊娠中やベビーカーでも、歩きにくさを感じている

- 自転車のルールを学ぶ目的は「交通事故防止」や「啓発」でなく、**対話**。子乗せ自転車利用者の経験と意見は、子ども向け自転車教育や**まちづくり**にも役立つ生の声

- ルール遵守の教育と同時に、理不尽なルールを変える、**道路環境**自体を**改める**などが必要ではないか

- 親が学べば、次世代にも伝わる。教育効果は2倍、3倍…

⇩

保護者向け自転車交通教育の機会を！

たとえば・自転車屋さんで試乗会と合わせて
・幼稚園や保育園、子育て支援センターなどで
・親子の集う場に『おやこで自転車はじめてブック』
読みたいときに読めるのが本のいいところ

Facebookページ「ぼちぼち自転車くらぶ」にて親子に役立つ情報発信中♪

やまがなおこ

ワークショップ参考文献『市民の会技術 ミーティング・ファシリテーション入門』青木将幸、ハンズオン埼玉出版部
『元気になる会議　ホワイトボード・ミーティングのすすめ方』ちょんせいこ、解放出版社